

調べる学習

子どもも大人も みんな 金銀

朝日小学生新聞 ● 監修



2023



岩崎書店

気になる ニュース

2月

2月3日は節分です。「鬼は外、福は内」と声をかけながら福豆(いり大豆)をまいたり、年齢の数だけ豆を食べて厄をはらう習慣があります。

2022年 2月 如月

- 3日 節分
- 4日 立春
- 11日 建国記念の日
- 14日 バレンタインデー
- 23日 天皇誕生日

国語 気になるコトバを調べてみよう!

「一糸乱れぬ」とはどんな意味?

2月15日、北京オリンピックのスピードスケート女子団体パシュート決勝で、日本は一糸乱れぬ隊列を組みカナダにリードしていましたが、最終コーナーの転倒によって銀メダルとなりました。

「一糸乱れぬ」の意味と似ている言葉

「一糸乱れぬ」とは、糸一本の乱れやずれもなく、ぴったりとそろっている様子や、整然と並んでいることなどを意味します。似た表現に「一心同体」や「三位一体」などがあります。

- 一心同体……2人以上の人が心を一つにして結びつくこと。
- 三位一体……3つのものが分かちがたく一体化している様子。
- 渾然一体……さまざまなものがとけ合って一丸となること。



算数 気になる速度を調べてみよう!

2月4日から開催された北京オリンピックでは、ウィンタースポーツの迫力に多くの人が魅了されました。

タイムや助走の「速さ」を調べてみよう!

- スピードスケート女子 1000m (金メダル・高木美帆選手) タイム1分13秒 **時速約 49.3km**
- スキージャンプ スタートしてジャンプ台から飛び出す瞬間。 **時速約 80 ~ 90km**
- フィギュア男子 (羽生結弦選手 4回転ジャンプの助走) **時速約 25km**

選手は時速何kmを体感しているの?

乗用車は時速約50km、自転車は時速約15kmで走るベン!



理科 気になるしくみを調べてみよう!

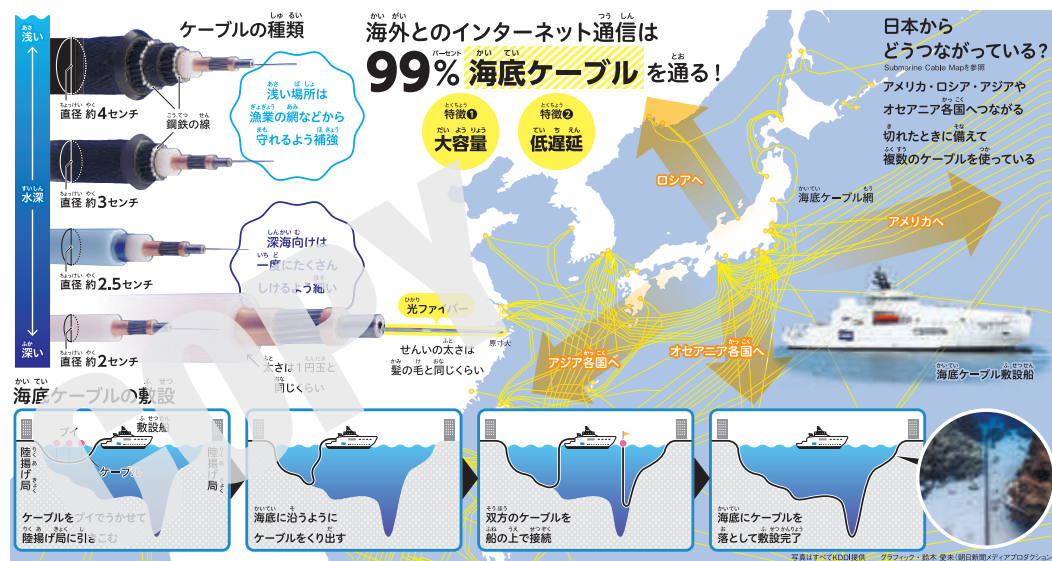
海底ケーブルって何?

トンガでは、1月に海底火山が噴火した影響で切断されていた海底ケーブルの復旧が2月22日に終了し、国際電話やインターネットが使えるようになりました。

世界をつなぐ通信手段

海底ケーブルとは海底にしかれたり、埋められたりした電話や通信用のケーブルのことです。海外とのインターネット通信は99%この海底ケーブルが使われていて、人工衛星の電波より多くの情報をやりとりすることができます。

ケーブルは、髪の毛ほどの細さの光ファイバーを、水圧や海水による腐食にたえられるように何層もの外装でおおっています。ケーブルは船を使って海底に沿うようにしかれます。



画像提供 / KDDI デザイン / 鈴木愛未



社会 気になる出来事を調べてみよう!

2月24日、ロシアがウクライナに侵攻しました。プーチン大統領は、ウクライナを自らの勢力圏にとどめNATOに加盟させないことを目的としているといわれています。

NATOとは

NATOは、North Atlantic Treaty Organization (北大西洋条約機構)の略です。アメリカを中心に主に旧ソ連に對抗するためにできた軍事同盟です。加盟国はお互いに協力し、守り合う目的があります。

NATOって何?

ロシアにとってのNATO

約30年前のソビエト連邦崩壊後、旧ソ連や東欧諸国が次々とNATOに加盟し、2022年時点で加盟国は30か国にのぼります。そして、ウクライナも加盟を希望していました。

NATOの勢力拡大をおそれたロシアがウクライナをおさえこむため、侵攻したとされています。



英語 気になる単語を見てみよう!

北京オリンピック・パラリンピックのスローガンは「together for a shared future」でした。

「together for a shared future」の訳は、「ともに未来へ」です。それぞれの単語の意味を調べてみましょう。

- together …… 一緒に
- shared …… 共有の
- future …… 未来、将来



課外活動 気になるコトバを調べてみよう!

北京オリンピックでは、ロシアオリンピック委員会の女子フィギュア選手のドーピング問題をめぐり、団体戦のメダル授与式が行われませんでした。

「ドーピング」はどうしていけないの?

ドーピングとは、スポーツにおいて競技の成績をよくするために運動能力や筋力を上げる禁止薬物などを使用することです。薬物によって体や精神に副作用などの健康被害をおこすおそれがあることや、フェアプレイ精神に反して社会的信用を失うことなどから禁止されています。

ほうめい 放課後 はみだしあそび広場

2月4日は「立春」、暦の上では春です。1~6のうち「春の味覚」はどれかな?

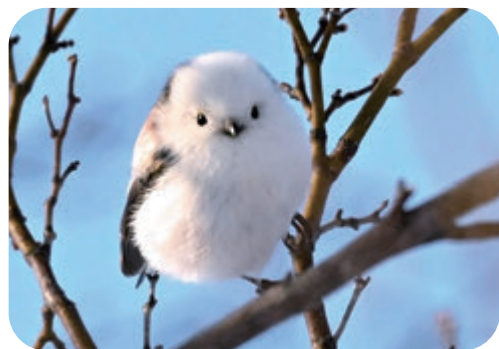


上半期の「ホット」なニュース

2022年上半期の「こんなことがあったんだ!」というおもしろいニュースや、びっくりするニュースを月ごとにピックアップしました。

1月 雪の妖精シマエナガが人気!

北海道だけに生息する野鳥シマエナガは、ふわふわの体に小さな目のかわいらしい姿から「雪の妖精」とよばれ人気があります。秋から冬にかけて20～50羽ほどの群れでくらし、観察しやすいのもこの時期です。



▲日本に生息する鳥の中でもかなり小さく、体長は長い尾をふくめて14cmほど。



▲全長6mもある、はり子のとら。

12年後へ「タイム黄ベルレター」

奈良県の信貴山朝護孫子寺には、大きなはり子のとらがかざられています。とら年のときだけ専用のレターセットを使って手紙を書いてはり子の中に入れると、12年後の次のとら年にあて先に届きます。



▲巨大看板「グリコサイン」には、「100年間ありがとう」などのメッセージが映し出された。

グリコ100周年を駆けぬける!

大阪の名所の一つ道頓堀の巨大看板「グリコサイン」で有名な江崎グリコが、2月11日で100周年をむかえました。感謝を伝えるために、巨大看板には期間限定で特別映像が流れました。

3月 3万体のひな人形が大集合!

徳島県勝浦町の人形文化交流館で「ビッグひなまつり」が開かれ、高さ8m、25段のひな段に全国からよせられたひな人形が並びました。ひな人形はすべて合わせて3万体的におよび、来館者の目を楽しませました。



▲高さ8mのひな段に並べられた、たくさんのひな人形。

4月



▲荒波にもまれても岩にくっつき続けるムール貝の能力からヒントを得た。

ムール貝が接着剤のヒントに!?

東京大学の研究チームが、ムール貝が岩にくっつくときにのびず足の先のタンパク質の構造を研究し、水中でも強力にくっつけられる接着剤を開発したとイギリスの科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」に発表しました。

接着剤は手術用としての実用化を目指していて、患部をぬわずにふさぐことができれば体に負担をかけることなく安全で簡単な手術が可能になると考えられています。

5月

「旅するチョウ」姫島に集合!

大分県の姫島に、スナビキソウの花のみつを求めてアサギマダラというチョウが集まりました。アサギマダラは、日本列島を南北に移動する習性があることから、「旅するチョウ」ともよばれます。姫島には1000匹以上のアサギマダラが飛びまわり、3～7日間滞在してから北上しました。



▲スナビキソウのまわりで群舞するアサギマダラ。

©朝日新聞社

鉛筆の芯でびっくり細密彫刻



鉛筆の芯をけすって彫刻した作品を集めた「鉛筆彫刻人シロイ展」が富山県富山市で開かれました。直径およそ4～6mmの鉛筆の芯をけすってつくった東京タワーや生き物など60点ほどがならびました。

▲鉛筆の芯が立体的なペンギンに。

6月

侍の顔に見えるのは……?

岩手県釜石市の市場サン・フィッシュ釜石で武士の顔のように見えるもようをもった「サムライヒラメ」が話題でした。釜石漁港で水揚げされたこの体長40cmのヒラメが顔に見えると客が気づき、市場内の鮮魚店が仕入れ、飼うことになりました。

▶まげを結った武士のように見える「サムライヒラメ」。



©朝日新聞社



▲曲がった尾まで表現された金のシャチホコシュークリーム「シャチボン」。

金のシャチホコ「シャチボン」

名古屋城(愛知県)のシンボル、金のシャチホコに似せた姿で人気だったシュークリーム「シャチボン」がJR名古屋駅のカフェで11年ぶりに発売されました。発売前から行列ができ、約1時間で完売する人気ぶりでした。